

# 八頭町地球温暖化対策実行計画の実施状況の公表 (平成25年度実績)

## ■ 削減目標

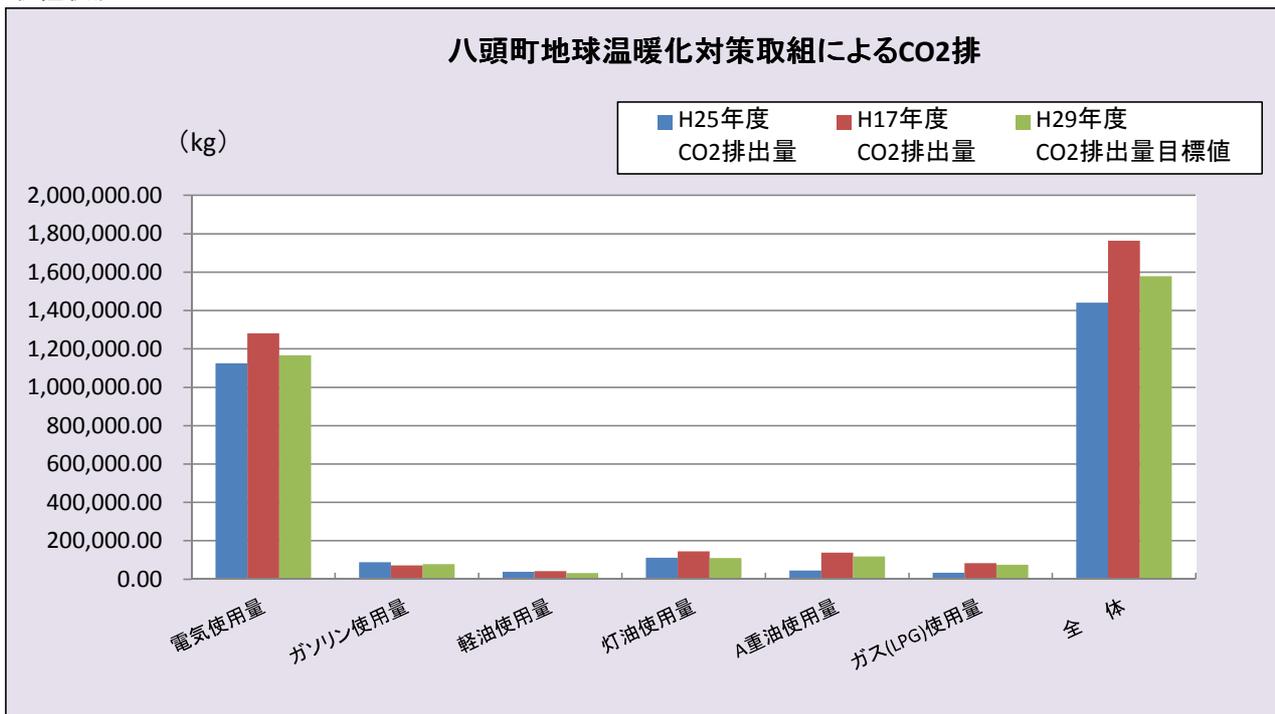
本計画は、平成22年8月に平成21年度実績をもとに目標値を見直し、平成24年度の二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量を、平成17年度対比で9.0%削減することを目指してきました。現在、計画第2期(平成25年度～平成29年度)として、二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量を、平成17年度対比で10.0%削減することを目標として取組みを進めています。

## ■ 各取組項目別の削減目標と平成25年度使用状況

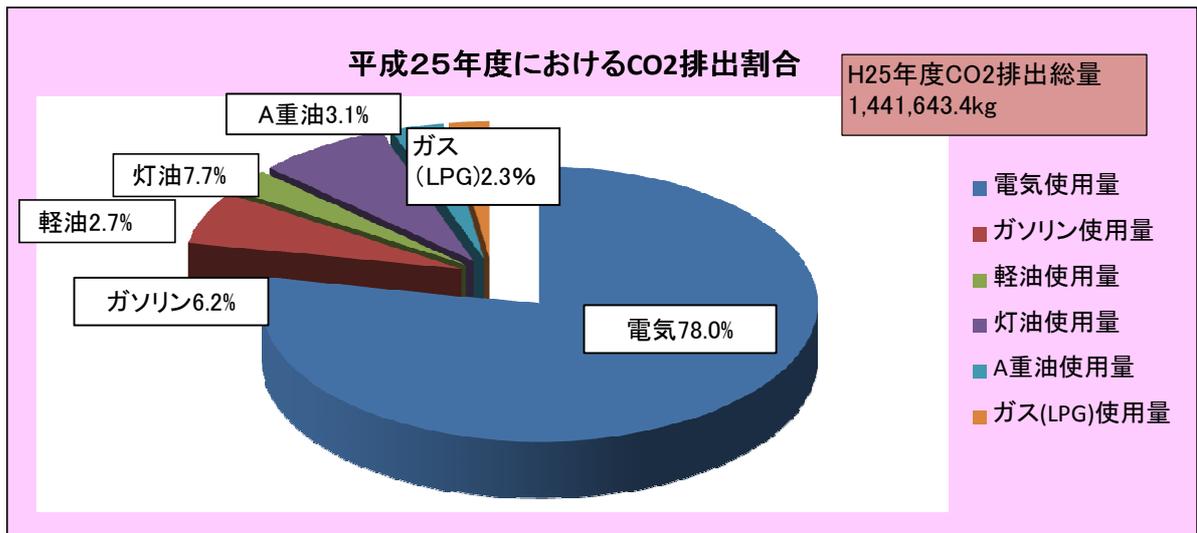
項目	平成29年度目標 (対平成17年度比)	単位	(基準年) 平成17年度 使用量等	平成25年度 使用量等	平成25年度 CO <sub>2</sub> 排出量 (kg/l)	使用量等 削減率	平成25年度 達成状況
電気使用量	9%以上削減	kwh	1,760,822.0	1,524,278.0	1,124,917.2	13.4%	○
ガソリン使用量	9%増までに抑制	ℓ	30,876.5	38,330.1	88,925.8	-24.1%	×
軽油使用量	24%以上削減	ℓ	16,463.5	15,075.9	38,895.8	8.4%	○
灯油使用量	24%以上削減	ℓ	58,020.0	44,545.0	110,917.1	23.2%	○
A重油使用量	15%以上削減	ℓ	51,126.0	16,367.0	44,354.6	68.0%	○
ガス(LPG)使用量	11%以上削減	m <sup>3</sup>	12,713.5	5,095.9	33,632.9	59.9%	○
紙使用量	可能な限り削減	枚	—	2,182,477.0	—	7.0%	—
水道使用量	可能な限り削減	m <sup>3</sup>	—	24,698.0	—	(※32.2%)	○
可燃物排出量	可能な限り削減	kg	—	44,217.4	—	(※-12.8%)	○
グリーン購入	環境配慮型製品の 積極的購入適合率	%	—	99.6	—	(※12.0%)	○
全体	CO <sub>2</sub> 排出量を10%削減	平成17年度CO <sub>2</sub> 排出量		1,762,918.1		18.2%	○
		平成25年度CO <sub>2</sub> 排出量		1,441,643.4			

(注)表のうち、( )の数値はH17年度使用量とH25年度使用量で算出した削減率

## ■ 取組状況



■ エネルギー別CO<sub>2</sub>排出割合



■ 各項目ごとの取組結果

項目	取組結果
電気使用量	目標値(対H17年度実績値)9%以上削減に対して、13.4%減となりました。H24年度から学校給食共同調理場3施設を1施設へ統合、オール電化を導入し、A重油やLPガスエネルギーから電気エネルギーへ移行したことで、電気使用量が大幅に増えました。また、福祉事務所の新設等の機構改革により、電気の使用量の変動がありました。その後、東北大震災の発生により、全国的な節電対策の推進もあり、郡家・船岡・八東の3庁舎をLED化し、住民サービスが低下しない範囲で「2012節電対策」を推進してきた結果と思われます。
ガソリン使用量	目標値(対H17年度実績値)9%増までに抑制するに対して、H20年度17.1%増、H21年度9.2%増、H22年度15.9%増、H23年度13.7%増、H24年度15.6%増、H25年度24.1%増となりました。原因は、新部署の新設等も含む機構改革により、公用車使用回数と走行距離の増大(本庁⇄支所や職場⇄現場)によるものです。公用自動車使用手順書によりエコ運転等引き続き徹底が必要です。
軽油使用量	目標値(対H17年度実績値)24%以上削減に対して、H24年度20.4%減が、H25年度8.4%減と削減幅が減っています。マイクロバス運行状況の見直し等、今後も引き続き、目標値(対H17年度実績値)24.0%以上削減を目指します。
灯油使用量	目標値(対H17年度実績値)24%以上削減に対して、23.2%の削減ができました。年度によって夏季・冬季における気候の影響もありますが、職員が意識改革に努め、灯油使用施設におけるクールビズ・ウォームビズに取組み、冷暖房使用等を控える等、省エネを継続して、今後も目標値(対H17年度実績値)24.0%削減を目指します。
A重油使用量	目標値(対H17年度実績値)15%以上削減に対して、68.0%の削減ができました。学校給食共同調理場の統合による新設で、A重油使用からオール電化したことで削減されたものです。これは、H24年度の使用量とほぼ同じで、引き続き削減に向けた取組みを推進します。
ガス(LPG)使用量	目標値(対H17年度実績値)11%以上削減に対して、55.0%の削減ができました。学校給食共同調理場の統合による新設で、ガス(LPG)使用からオール電化したことで削減されたものです。A重油同様、削減に向けた取組みを推進します。
紙使用量	H21年度までは各々の使用量を集計していましたが、H22年度から紙の購入量を根拠として集計したため、H21年度使用量(1,009,876.1枚)に比べH22年度使用量(2,630,783枚)は2.6倍の使用量となりましたが、H23年度実績(2,347,350枚)、H24年度実績(2,056,850枚)、H25年度実績(2,182,477枚)と前年より少増ではありますが、H23年度に比べ7.0%削減となりました。
水道使用量	目標値(対H17年度実績値)可能な限り削減に対して、32.2%の削減ができました。すべての施設において節水に努めた結果です。
可燃物排出量	目標値(対H17年度実績値)可能な限り削減に対して、12.8%の増でした。要因としては、機構改革等により各施設・各部署の清掃・整備等により廃棄物が排出されたものです。今後も「廃棄」と「リサイクルできるもの」とを分別徹底し、可燃物の削減に努めます。
グリーン購入	目標は「環境配慮型製品の積極的購入」で、H25年度のグリーン購入適合率は99.6%でした。H17年度に比べ、購入率は12.0%の増です。年々購入適合率が上がっています。グリーン購入基本方針に基づき、指定物品の100%グリーン購入を目指します。

■ その他の取組

ペットボトルキャップリサイクル

町内の公共施設にペットボトルキャップの回収ボックスを設置。住民の方からもキャップの回収を行い、回収業者へ引き渡しています。

※平成25年度中における回収量

55.8kg	約 22,320個
--------	-----------

■ まとめ

平成25年度の二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量は、平成17年度と比較し、全体で321,274.7(kg/l)削減することができました。これは、18.2%の削減率となり、平成29年度の目標を達成しています。しかしながら、年度によって削減率の変動があるため、引き続き目標達成に向け努力します。

項目別に見ると、「ガソリン使用量」については、平成24年度と比較しても増加しており、「公用車使用手順書」に従った運用を常に心掛け、できる限りの二酸化炭素排出量削減に努力していく必要があります。平成24年度に電気自動車1台を購入し、充電器を1基整備して使用しています。今後、環境対応車購入を推進することも対策の一つであると考えます。

また、可燃物排出量については、基本的なことではありますが、ゴミの分別を徹底し(プラスチック等の混入、リサイクル可能用紙混入等)、排出量の抑制が必要です。

他の項目についても、職員は省エネや環境保全意識を常に持ち、次年度の目標達成に向けて取組を継続していきます。